

Osaki

おおさき
～大きい輪、和、話～



VOL. 153

令和3年7月26日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1番地1号

TEL (0229) 91-0727 (地域農業班)

(0229) 91-0726 (先進技術班)

FAX (0229) 23-0910

HP <https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

E-mail osnokai@pref.miyagi.lg.jp



栽培管理の改善に向けた
環境測定と生育調査

5月に定植された長ねぎ（古川地区）



園芸の更なる拡大を目指して

県の農業・農村振興に係る基本的な計画である「みやぎ食と農の県民条例基本計画」の第三期計画が本年度よりスタートします。本計画の主要目標のひとつに農業産出額があり、10年後の目標年（R12年）までに現状から349億円増の2千288億円を目指すこととしています。特に、園芸産出額に関しては現状の約2倍となる620億円を目指し、全県挙げて集中的且つ強力に取組んでいくこととしております。

一方、大崎圏域の農業は米と畜産に特化した生産構造となっており、圏域産出額（H30年）547億円のうち、米と畜産が大部分を占め、園芸は1割程度しかありません。将来的に見て主食用米の拡大は見通せない状況であり、園芸拡大が、農業を基幹産業と位置づけている大崎圏域の最も重要な取組であると認識しております。

このため、普及センターでは大崎の園芸振興に向けて、県内一位の生産を誇る古川のなすや加美郡のねぎの更なる拡大や、トマト等の施設園芸への支援、農地整備後の汎用化水田を活用した機械化一貫体系による露地野菜の導入、大豆からえだまめへの転換などを重点的に進めて参ります。園芸の拡大をお考えの農業者の皆様、各種施策の活用から現地での技術指導まで、総合的に支援させていただきますので、お気軽に普及センターにご相談ください。

大崎農業改良普及センター 所長 佐藤 昌幸

21世紀元気農業の発信！ ☆☆令和3年度普及指導計画の紹介☆☆

大崎農業改良普及センターでは、
4つのプロジェクト課題を計画し活動します

課題名：大崎園芸を牽引するなすの技術革新による生産性向上【継続】

「園芸振興」, 「アグリテック」 関連課題

活動期間：令和2～3年度（2カ年） 関係市町：大崎市
対 象：JA古川管内施設なす生産者 個別経営体（3）、法人経営体（1）

主な活動：

- 体系的な土壌病害対策の実践による収量と品質の向上を支援します。
- 環境データの活用による、「環境の見える化」をすすめるとともに、見える化によって栽培管理のPDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの定着を促し、環境データに基づいた栽培管理を支援します。



遮熱剤の効果検討

課題名：「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成【新規】

「園芸振興」 関連課題

活動期間：令和3～4年度（2カ年） 関係市町：大崎市
対 象：JA古川管内2組織 法人経営体（1）、任意組合（1）

主な活動：

- 有望な新規早生品種の選定、葉面散布による増収技術の定着、雑草防除体系の確立により、えだまめの栽培技術確立を支援します。
- 産地拡大に向けた新規栽培者の確保を図るため、古川地域における経営指標を作成します。
- 広報活動や視察研修の実施により、古川えだまめ販売力強化に向けた活動を支援します。



えだまめ剪葉検討会

課題名：直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売【新規】

「園芸振興」「持続可能な農業・農村構築」 関連課題

活動期間：令和3～4年度（2カ年） 関係市町：大崎市、色麻町、加美町
対 象：JA加美よつば 個別経営体（5）、あ・ら・伊達な道の駅出荷者 個別経営体（13）

主な活動：

- 直売所との連携により、既栽培者の状況把握と技術支援を行い、生産・出荷量の増加を支援します。
- ぶどうの生産拡大に向けて、新規栽培誘導と栽培技術習得を支援します。
- 販売に向けた課題を解決しながら、農業者の果樹生産による収益向上が図られるよう支援します。



シャインマスカット

使用前にもう一度、「農業ラベル」を確認しましょう

課題名：下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展【新規】

「農地中間管理事業」「園芸振興」「持続可能な農業・農村構築」関連課題

活動期間：令和3～4年度（2カ年） 関係市町：大崎市

対 象：下真山地区担い手候補者 個別経営体（12）、法人経営体（1）

主な活動：

- ・営農ビジョン実現に向けた地域の合意形成を図り、農地整備事業の担い手の明確化と育成を支援します。
- ・地域に合った高収益作物の選定に向けて、試験ほ場の設置や品種ごとの比較検討を行うとともに安定した収益が得られるよう、栽培技術習得を支援します。
- ・生産物の安定生産に向けた、地域ぐるみの鳥獣害対策についても支援します。



高収益作物期待の白菜

農業改良普及センターの重点活動**1：新規就農者の早期経営安定化**

- ・地域の担い手が減少する中、関係機関と連携を図りながら新規就農者を確保・育成し、新たな担い手としての定着を支援します。

2：ねぎの生産安定技術の向上

- ・農業法人や新規就農者により作付が拡大傾向にあるものの、単収の低い生産者もみられるため、生産安定技術の向上を支援します。

3：米のブランド化推進のための生産安定化

- ・地域ブランド米である東北194号（ささ結、ささゆた香）やゆきむすび、新品種だて正夢や金のいぶき等の高品質安定生産に向け栽培技術の確立、生産販売体制の構築を支援します。

宮城県「普及に移す技術」第96号 水田を活用した露地園芸品目導入の手引き の紹介

米価が低迷する中、水田農業経営体の所得拡大に向けて、水稻・大豆に加えて露地園芸作物の導入検討のための栽培概要資料、経営指標、水稻・大豆等と組み合わせた経営モデルによる経営シミュレーションと活用可能な補助事業等の参考資料から構成されています。

経営シミュレーションシート（下図）は、表計算ソフトのMicrosoft Excelで作成されており、経営規模、単収、販売単価の設定による収益性の検討と経営体の機械価格や労働力、労働単価、借地料等の実態に応じて設定し、より精度の高いシミュレーションが実施できます。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8119）

露地園芸品目導入 経営シミュレーションシート									
	構成員数			10名		労働力			
作 目	水稻(移植)	大豆	ねぎ	たまねぎ	キャベツ	加工用ばれいしょ	えだまめ	ゆきな	
経営規模(面積)	35.0ha	20.0ha	4.0ha	1.0ha	1.0ha	0.0ha	0.0ha	0.0ha	
10aあたり収量	585kg	250kg	3,000kg	5,000kg	5,000kg	3,000kg	419kg	1,000kg	
10aあたり単価	238円	144円	279円	60円	60円	43円	186円	309円	
水田交付金等(円/10a) (その他助成金等含む)		72,667円	50,000円	0円	0円	0円	0円	0円	
10aあたり粗収益	150,930	108,667	887,000	325,000	300,000	129,000	249,724	305,000	
10aあたり固定費	28,429	16,807	47,497	15,388	521,831	0	0	0	
10aあたり資材費等	38,880	35,985	256,790	244,247	116,926	100,511	129,229	172,889	
粗収益(売上額等)	52,825,500	21,733,333	43,463,000	3,250,000	3,000,000	0	0	0	
固 定 費	9,949,978	3,361,439	2,327,347	153,681	5,218,310	0	0	0	
資 材 費 等	13,807,941	7,197,025	12,582,688	2,442,467	1,169,261	0	0	0	
借 地 料	3,500,000	2,000,000	490,000	100,000	100,000	0	0	0	
雇 用 労 賃	0	0	0	0	0	0	0	0	
農 業 所 得	25,767,582	9,174,870	28,062,965	553,852	-3,487,570	0	0	0	
事業所得	60,071,855								
水稻耕作面積	0.0ha								
借地料	10,000円								
雇用労賃単価									
共済利用割合	0%								

図 経営シミュレーションシート

園芸振興を核としたバランスのとれた生産構造へ！